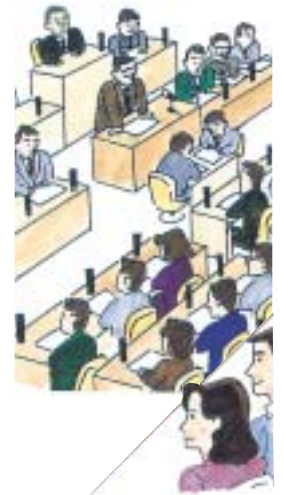


本会議 の 質問から



自由民主党

代表質問 藤木 光裕
個人質問 織田 誠
個人質問 野田 義和

(行政改革)指定管理者制度で効果的・効率的な管理運営を 市道の積極的な整備を行い安全・安心なまちづくりを

・指定管理者制度
我が会派の当該制度に
対する考えは公募が基本で
ある。当該制度の目的には
公の施設の管理業務を民間
業者に対象を広げ民間の経
営ノウハウを活用する事が
盛り込まれている。公募に
より今まで管理委託してき
た市の外郭団体と民間業者
との間に競争の原理が働き、

サービスの向上や経費の削
減等による効果的で効率的
な経営、管理運営が期待で
きるが市の考え方を示せ。
経営企画部長 今回は五施
設の公募にとどまっている
が、当該制度の趣旨に沿っ
て公募施設を増やすよう早
期の課題解消に努める。
・道路整備の推進
問 平成十七年度末には本



公共施設の管理運営に民間活力を導入する指定管理者制度で、市民サービスの向上や経費削減を図ります。(野外活動センター)

市公共下水道事業が完了し、
水洗化による生活環境の改
善が図られる一方で道路整
備の遅れは顕著であり、幹
線道路渋滞時の迂回による
生活道路での交通量の増加
問題、特に通学児童の安全
確保や災害時等の円滑な救
急活動の確保等が懸念され
る。安全、安心なまちづく
りを目指す上で、都市基盤
の重要な要素の一つである
道路整備においては都市計
画道路の整備推進はもとよ
り、市道全般の積極的な整
備が急務であると考えなが
市長の次なる思いを示せ。
市長 「すべての人に優し
いまちづくりの実現のため、
今後は整備が遅れ交通安全
や防災上問題のある道路の

整備を市の最重点施策に位
置づけ、より一層積極的な
推進を図る。
・職員の新任用制度
問 団塊世代の大量退職に
伴う市の政策推進における
知識、経験、技術力などの
空洞化に対応するため、再
任用職員には常勤職員時代
に培ったノウハウを生かし、
定年前と同様に市民サービ
スに徹することを明確に求
めるべきである。この制度
を単なる退職者の再就職制
度としないため、長年市民
のために頑張ってきた公務
員としての資質と能力を十
分備えた職員のみを再任用
すべきと考えるがどうか。
行政管理局長 任用に際し
ては選考委員会を設置し、
在職中の勤務実績と合わせ
業務に対する能力と意欲の

ある者を任用する。

・大阪瓢箪山線の整備
問 平成二十三年度末に完
成予定の近鉄奈良線連続立
体交差事業と並行して整備
される都市計画道路大阪瓢
箪山線の、八戸ノ里駅から
中央環状線を越え近鉄ハ
ーソに至る部分については
まだに具体策が示されてい
ない。この整備に際しては
第二寝屋川の架橋問題、玉
川変電所の撤去問題、さら
には大阪中央環状線との交
差点処理問題等課題が山積
していると聞か、今まで
どのような協議を行ってき
たのか。
都市整備部長 ご指摘の課
題は関係機関と協議検討す
ることで解決できる。遅く
とも連続立体交差事業区間
の完了後、速やかに事業着

手できるように努力する。

・上下水道局統合庁舎
問 上下水道局は平成十七
年四月に、効果的で効果的
な事業運営と市民サービスの
向上を目的とし水道局と
下水道部を統合して発足し
たが、執務室が従前の水道
局庁舎と総合庁舎に分かれ
ており、さまざまな障害が
生じていると思われる。市
民サービスの向上と行財政
改革、市民生活を守る防災、
危機管理の面から、上下水
道局統合庁舎は必要である
と考えるが概要を示せ。
助役 市民の上下水道事業
の理解につながり、災害時
には総合庁舎の補完的役割
を担う環境に配慮した庁舎
を目指し、平成十八年九月
から庁舎建設に着手し平成
二十年三月の竣工を目指す。

自民党政刷新クラブ

代表質問 浅川 健造
個人質問 上野 欽示
個人質問 富山 勝成
個人質問 青野 剛暁

リーダーシップを發揮できない市長の責任を追及！ 計画性のなさが疑問視される市職員再任用制度

・市長の行政執行能力
問 市長は就任以来三年余
り議会対応も満足にできず、
また中核市の市政執行者と
しての自覚も責任も放棄し
た形で現在に至っている。

さきの九月定例会では、部
下に指示しても部下に言う
ことを聞かせられない、す
なわちリーダーシップの欠
如を自ら認めるような発言
をしている。そんな無能な
市長に何ができるのか。議
会のたびに答弁や発言が変
わり、また道法精神のかけ
らもない。市長の答弁や発
言はそんな軽々しいもので
はなく、いったん口に出さ
4面へ続く